



01・02. ジャガイモを収穫し
喜ぶ園児。

食育の一環として 町内の畑でジャガイモの収穫体験

うどの幼稚園と鶉殿保育所の園児は5月29日、町内の畑においてジャガイモの収穫を行いました。

これは園児たちの食育の一環として、収穫の喜びを味わうことや農作物の成長の変化に気づくことなどを目的に行われているものです。

園児たちは茎の根元をしっかりとって引き抜き、土の中から現れる大きささまざまなジャガイモに歓声を上げたり、土の中で見つけた虫たちに興味津々の様子を見せたりしながら、収穫体験を楽しんでいました。

収穫したジャガイモは家庭へ持ち帰られたほか、給食の食材としても活用され、園児たちは自分たちで収穫した味を楽しんでいました。

Town topics
5/29



ワークショップの様子

Town topics
5/25

地域で考える風水害への備え 桐原地区でワークショップを開始

町は5月25日、桐原生活改善センターで「桐原地区風水害地区タイムライン」策定に向けた第1回ワークショップを開催しました。

これは、台風や集中豪雨などによる風水害・土砂災害に備え、住民一人ひとりが適切なタイミングで避難や安全確保の行動を取れるよう、地域の实情に合わせた「地区版風水害タイムライン」の作成を目的に開催されたものです。

ワークショップには地域住民らが参加し、地域の危険箇所や避難経路など、意見を出し合いました。

参加者たちは、活発な意見交換を通じて地域防災への理解を深めるとともに、「いつ」「だれが」「なにをするか」を整理しながら、災害時に取るべき行動について考えていました。

長年にわたり地方自治に貢献

井本芳孝さんが旭日単光章を受章

令和8年度高齢者叙勲「旭日単光章」の伝達式が6月1日、町役場で行われ、受章した井本芳孝さんに町長から章記と徽章が伝達されました。

井本さんは、平成7年1月に旧鶉殿村議会議員に初当選され、町村合併を経て平成19年2月まで紀宝町議会議員を務められました。この間、総務教育常任委員会委員長などを歴任され、地方自治の発展に貢献されました。

受章にあたり井本さんは「多くの方に支えていただいていることをありがたく思います。これからも町の発展を願っています」と話していました。

Town topics
6/1



受章された井本さん(左)

がん撲滅と医療従事者へのエールを込め

生命の駅伝でタスキをつなぐ

「第32回生命の駅伝」の出発式が5月25日、役場玄関前で行われました。

この活動は、がん研究を支援するための募金活動と、がん検診の啓発活動を目的とした市民参加型のチャリティー活動として毎年行われているものです。

出発に先立ち、役場玄関前で町長が町民から寄せられた募金を生命の駅伝実行委員会に手渡し、関係者を激励しました。

ランナーたちは、がん研究支援、がん検診の受診推進を訴えながら、中継場所であるウミガメ公園まで走りました。

Town topics
5/25



紀宝町役場を出発するランナーたち

6、7月の毎週土曜日には一般参加者も募集

ウミガメパトロールを開始

町から委嘱を受け、井田海岸などに上陸するアカウミガメの保護活動を行っている紀宝町ウミガメ保護監視員7人(萩野進也さん、西昌志さん、前地敏久さん、前地正喜さん、前田浩志さん、和田泰雄さん、伊藤柊也さん)は6月1日、ウミガメパトロールを開始しました。

これはウミガメの上陸や産卵を確認し保護するため、毎年6月から7月にかけて行っているものです。

また、パトロール開始にあわせて、ウミガメ保護監視員とボランティアが協力し、ウミガメの産卵シーズンを迎える井田海岸の清掃活動を行いました。

Town topics
6/1



パトロールと清掃を行うウミガメ保護監視員たち

地域医療に尽力

二村昭さんに感謝状を贈呈

町の相野谷診療所長や健康管理担当理事などを歴任し、3月末で顧問を退任した二村昭さんへの感謝状贈呈式が5月29日、町役場で行われ、町長から感謝状が手渡されました。

二村さんは昭和63年に旧紀宝町へ奉職し、相野谷診療所長として地域医療の充実に尽力、合併後は健康管理担当理事も兼任し、住民の健康増進に取り組みました。定年退職後も町の特別参与や顧問として、町政に携わり、長年にわたり町の発展に貢献されました。

贈呈式で二村さんは「多くのご縁に恵まれ、さまざまなことに挑戦できました。本当にお世話になりました」と話していました。

Town topics
5/29



感謝状を贈呈された二村さん(左)